

2018年11月6日

報道資料

パイオニアの「3D-LiDAR センサー」を搭載した自動運転シャトルバス
シンガポールにて実証実験を開始

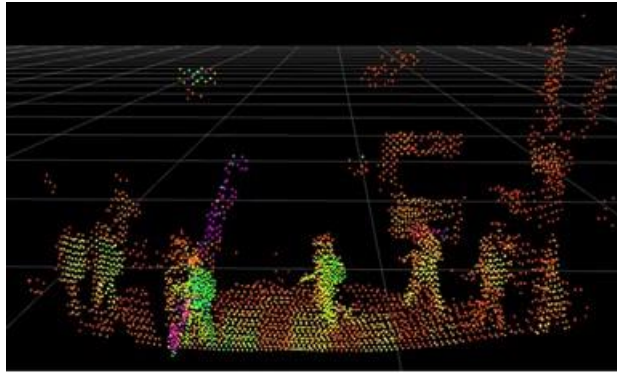
パイオニア株式会社は、シンガポールの自動運転関連スタートアップ企業 MooVita Pte Ltd (以下「MooVita」) と、シンガポールの高等教育機関である「Ngee Ann Polytechnic (ニーアン ポリテクニク)」構内において、当社の「3D-LiDAR センサー」を搭載した自動運転シャトルバスを使った実証実験を開始します。両社は、本実証実験を通じて、自動運転レベル 4 のサービス商用化を目指します。



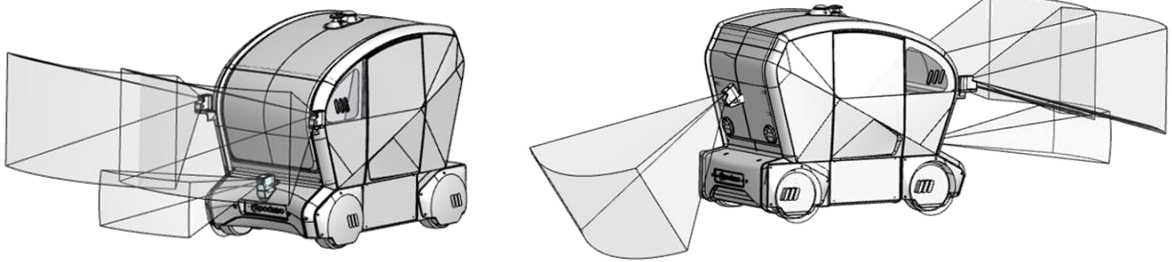
【パイオニア製「3D-LiDAR センサー」が搭載された自動運転シャトルバス】



【Ngee Ann Polytechnic 構内での自動運転実証実験】



【パイオニア製「3D-LiDAR センサー」で取得した点群データ】



【パイオニア製「3D-LiDAR センサー」搭載イメージ図】

MooVita は、自動運転に関する技術開発を推進するシンガポールの科学技術庁「A*STAR」(Agency of Science, Technology & Research)出身者により創設されたスタートアップ企業で、シンガポールのほか、マレーシアやインドにおいて自動運転関連事業を開発、展開しています。

「3D-LiDAR センサー」は、レーザー光で対象物までの正確な距離を測定し、遠方や周辺の状態をリアルタイムかつ立体的に把握できるため、レベル 3 以上の自動運転の実現に不可欠なキーデバイスとされています。当社は、2020 年以降の量産化を目指し、高性能で小型かつ低コストな MEMS ミラー方式の「3D-LiDAR センサー」の開発を進めており、本年 9 月下旬より、計測距離と画角が異なる「3D-LiDAR センサー」3 種 4 モデルを国内外の企業に順次提供開始しています。また、当社は、これらの「3D-LiDAR センサー」を活用した高精度の「物体認識アルゴリズム」および「自車位置推定アルゴリズム」の開発を進めていきます。

今後、当社は「3D-LiDAR センサー」やアルゴリズムなどに関する知見・技術を提供し、MooVita は自動運転ソリューションの開発を進めることで、自動運転の早期実用化およびサービス商用化に貢献してまいります。

当社の自動運転に関する取り組みについて: <http://autonomousdriving.pioneer/ja/>

【MooVita について】

MooVita は、2016 年に創業した、自動運転ソリューションの提供を専門とするハイテクスタートアップ企業で、シンガポールに本社、マレーシアとインドにオフィスを設けています。シンガポールの公共道路で自動運転車両を初めて走らせた団体の 1 つでもある同社は、都市向け完全自動運転のソフトウェアソリューションを開発しています。 <http://www.moovita.com>

【Ngee Ann Polytechnic について】

<https://www.np.edu.sg/Pages/default.aspx>